



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中！…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX：0467-47-1164 木曜を除く10時～16時
Web URL：<http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/> E メールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

日一日と陽が長くなり、寒さの続いた季節も移り変わっています。谷戸の遅咲きの梅のつぼみもほころびかけています。ちょうど1年前に本号で紹介した紙芝居の原画が、国際的に認められるという嬉しい

ニュースも飛び込んできました。新しい年度の始まりです。大人向け、子ども向けの入り混じった事業がさらに充実してきています。気軽にご参加ください。

新年度会員を募集します



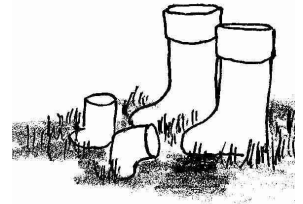
『2011 ボローニャ国際絵本原画展』で、当会の紙芝居「かっちゃんの昔あそび」の富田昭子さんの絵が、約2900人応募中、入選者77人（日本人13人）に選ばれました。（巡回展の詳細P5）



もくじ

☆谷戸塾募集→2p ☆各班からのお知らせ→3p ☆谷戸の自然だより→4p ☆谷戸往来→5p ☆谷戸の体験学習→6・7p

今年も “谷戸塾” 受講生募集！



初めての方対象の講座です。田んぼ、畑、雑木林手入れの作業と座学の講座を1年間で学びます。どなたでも参加できます。お気軽にお申し込みください。毎回、講座には保育がつきます。子連れでの参加も可能です。

申し込み: 会員申し込みの後、登録してください。

対象: 小学5年生以上

オリエンテーション
4月10日(日)
10:00-12:00
管理棟2階 研修室にて

これまでの様子 以前に経験のある方、谷戸での作業が初めての方などが参加されます。保育つき講座なので、子連れの家族も何組か参加されています。通ううちに次第に熱心になっていく方が毎年おられ、30名ほどの登録者のなかから、事務局員、各班リーダー候補が誕生しています。

年間スケジュール(予定)

*すべて土・日

*内容・日程の変更あり

田んぼ作業 (9:30~12:00)	
①種蒔き	4/17
②田うない	5/1
③しろかき	5/28
④苗取り・田植え	6/4
⑤田の草取り	7/3
⑥ネット張り	8/28
⑦すがい作り	9/18
⑧はさ作り	9/25
⑨稲刈り	10/9
⑩脱穀	10/30
⑪わら切り・落ち葉かき	12/4
⑫土ふるい・籾殻くん炭	2/5
⑬道具の手入れ	3/11

畑の作業 (9:30~12:00)	
①さといもの植付け	4/17
②さつまいもの苗植え	5/15
③麦刈り	5/29
④たのくろ豆蒔き	6/19
⑤ごまの種蒔き	7/10
⑥さつまいもの除草	8/7
⑦冬菜の種蒔き	9/11
⑧さつまいも掘り	10/16
⑨小麦の種蒔き	11/6
⑩たのくろ豆の収穫	11/27
⑪落ち葉かき	12/11
⑫さつまいもの苗床作り	2/12
⑬道具の手入れ	3/11

雑木林の作業 (9:30~12:00)	
①畑周辺の草刈り	4/17
②土手の草刈り	7/10
③畑周辺の草刈り	8/7
④土手の草刈り	8/28
⑤畑周辺の草刈り	9/18
⑥雑木林の除間伐	11/3
⑦畑周辺の除間伐	12/4
⑧雑木林の除間伐	12/18
⑨雑木林の除間伐	12/25
⑩竹切り	1/9
⑪畑周辺の除間伐	1/15
⑫木障切り	2/12
⑬道具の手入れ	3/11

*収穫したものは、12月予定の親睦会で味わいます。



講座 (13:30~15:00)	
①谷戸とは	4/17
②谷戸の畑	5/29
③谷戸の田	7/3
④谷戸の生きもの	9/18
⑤鎌倉の緑地と里山	11/3
⑥雑木林の管理	12/4
⑦市民活動と保全活動	3/11

新作頒布！
鳥の絵はがき
ポローニャ国際絵本
原画展入選
紙芝居上映！

春の谷戸まつり

4月29日(金・祝)
10時~14時・荒天中止

炊き出し(谷戸鍋・餅・ご飯他)
体験コーナー、谷戸産の頒布など
炊き出し頒布券配布 11時~
炊き出し 11時半~
★エコに配慮し、お箸、お椀
をご持参ください。

各班からのお知らせ

田んぼ班 ★3/6 (日) 苗床肥料入れ ★13(日)道具の手入れ ★27(日)畔整備

籾殻くん炭やふるった土は出来上がったものから袋に入れ、雨がかからないように保管。苗床は深く耕して、コウブシやスギナの根を出来る限り除去。4月の種籾蒔きに向けて、着々と準備が進行中！山際を氷に覆われた田んぼも春を待っています。

<会員から>55年ぶりに田んぼ仕事に参加しましたが、思っていたより体が動いて安心しました。小生のような年寄りには肉体労働は心が休まって楽しいことが判りました。まさに「身を労すれば心逸し、身逸すれば心労す」だと思いました。来年も微力ながらお手伝いさせていただくつもりです。(恒吉 利信)



籾殻くん炭

畑班 ★3/6 (日) ねぎの種蒔き・耕し ★13 (日) 道具の手入れ

★20 (日) 堆肥撒き・草取り・耕し ★27(日)草取り・耕し



道具の手入れ

谷戸の畑は1月の雨不足で生育が遅れ気味ですが、疎林広場の小麦と炭焼き小屋中段でそら豆が育っています。新年度4月になるとごぼう、こんにゃく、さといも、かぼちゃと種蒔きの連続で忙しくなりますが、3月はその準備作業で少しの余裕があり、普段できない農道具の手入れをします。お世話になる鎌や鍬の手入れと一緒に体験してみませんか。

雑木林管理班 ★3/6 (日)、13(日)、20(日) 除間伐

田んぼや畑に影を作る木を中心に除間伐を行っています。伐った木の処理や、薪作り、小枝の整理も重要な仕事です。まだまだ寒い中の作業ですが、新しいメンバーも増えています。

皆様の参加をお待ちしています。



農芸班

今年度も梅干し、たくわん、味噌作りを無事に終えました。他にも小麦・そばの製粉など、農作物の加工は食品のため気を使いますが、手作りの良さ、大切さに気づかされます。

新年度も季節ごとの谷戸の恵みに感謝しながら、和気あいあいと活動を行っていきます。ご参加お待ちしております。



味噌作り

自然遊び班

★3/13 (日) 一日里山冒険遊び場
「春の団子作り」

谷戸のお米を粉にして、釜戸で火を炊いて蒸かして作ります。谷戸ならではの手作り団子の味です。



こうぞの皮むき

谷戸の自然だより ～真冬から早春へ～

1月は、ほとんど雨が降らず、冬らしい天気が続きました。猛暑の年は寒い冬が来るといふ言い伝えどおり、日中になっても厚い氷が溶けず、つららもできました。2月になって雪が降り、わずかな雪景色が見られました。雨や雪が降るのは春が近づいた証拠です。乾燥した天気が続き、今年にはアカガエルの産卵が遅れています。木の実が不作で餌が足りないのか、タイワンリスが樹皮をかじる被害が出てきました。特筆したいのは、タシギというハトくらいの大きさのシギが3～4羽、谷戸の田んぼや湿地に来ていることです。タシギそのものは特別珍しい野鳥ではありませんが、山崎の谷戸では非常に稀です。

～ タンポポとブタナ ～

タンポポという名前は幼児語から来ているとか？春野原のと子どもたちのイメージがあります。西洋タンポポ（外来種）と日本タンポポ（鎌倉は関東タンポポ）、白花タンポポの3つに大別できます。西洋タンポポはたいてい小さくて平たく、街中の道端で秋まで咲いています。日本タンポポは大きくて20～30cmの草丈があり、土手や山道沿いで4月頃にたくさんの花を咲かせます。白花タンポポは、西日本に多いタンポポといわれていますが、最近はなぜかほとんど見かけなくなりました。

ブタナをご存知でしょうか。谷戸では寺分口への階段沿いの石垣の間からたくさん生えています。花の茎が長くて、ひょろひょろしていて、花はタンポポそっくりですが、牧草として日本へ入ってきた外来植物です。しかし分布を広げる気配はなく、今はうぐいす山住宅地のきつね塚公園などで見かけるくらいでしょうか。

都市化が進むと、西洋タンポポが増えて日本タンポポが減るといわれていますが、谷戸では公園として整備された後も、昔ながらの畑の土手に日本タンポポが健在です。一方西洋タンポポは、芝生を張った場所に一時爆発的に増えましたが、なぜか土手には侵入していません。意外なのは田んぼの畔にわずかですが西洋タンポポが入っていることです。

背の低い西洋タンポポは土がむき出しになったような場所を好み、土手のように草が20～30cm伸びている場所には入り込めないようです。畔は草丈を低く刈り込むので入りやすいのかもしれませんが。西洋タンポポが急に増えてきたら刈り過ぎの目安になると思います、畑の土手は5月下旬から梅雨時に刈るので、4月に咲く日本タンポポは花を咲かせ実を結ぶ機会があるのでしょうか。タンポポの花にも草刈りの時期や刈る回数に関係しているのです。



生態系保全班 ★野鳥観察 3/27(日) ★湿地の手入れ 30(水)

地鳴きからサエズリに変わり心地よい小鳥の歌声が聞こえます。もうすぐ野鳥の種類も少なくなります。この機会をお見逃しなく!!



植物育成班 ★早春の野草調査 3/16(水)

モニタリングサイト 1000 里地調査の植物相調査と一緒に参加しませんか？新しい発見があるはず!!



谷戸往來 谷戸往來 谷戸往來

春の七草&どんど焼き 1/14(金)

山崎地区の行事を継承して4回目となるどんど焼きに、今年も大勢の方が参加されました。山崎の総代である関根氏の説明を聞いてから、お正月飾りを燃やして歳神さまを見送りました。みんなで園内で取れた七草の入った七草粥や当会の谷戸米を粉に挽いて丸めた団子を炙って食べ、1年間の無病息災を祈りました。



大好評の七草粥

逗子名越緑地里山の会で発表 2/13(日)

市の支援を受けて里山保全活動をしている「逗子名越緑地里山の会」で、当会の活動の紹介をしました。地元の人とのかかわり、行政との対応について関心が高く多様な質問がでました。地元の方から引き継いだ経緯、多世代交流のある活動の様子、会発足当時から、現在の協働に至るまでの行政との連携を伝えました。

こうぞの紙漉きに挑戦 2/13(日)

以前、わらの紙漉きをやったことがありましたが、今回は当地に自生している“ひめこうぞ”を使って挑戦しました。まず、1月の一日里山冒険遊び場で「木を伐る→蒸す→樹皮を剥ぐ→干す」作業をし、今回は数日前に「水に戻す→煮る→晒す」作業をし、当日、繊維を紙粘土状になるまで何度も叩きました。その紙料を水に入れてトロアオイのネリを加え、はがき大に漉くのです。冷たい水の中の作業でしたが、参加した親子20名は夢中で、葉っぱ入りの紙を漉いたり、いろいろな形に挑戦してみたり、それぞれ個性溢れる紙が漉けて大満足。通りがかった何人もの人から、「こんなことができるんですね」と感心されました。

2011 ボローニャ国際絵本原画展

●イタリア・ボローニャ(3/28~3/30) ●東京・板橋区立美術館(7/2~8/14) ●兵庫・西宮市大谷記念美術館(8/20~9/25) 他、愛知県、石川県 など巡回展示

葉っぱを入れて作ったよ!



なかよし会の映画「さあ のはらへ いこう」を初披露

山崎の谷戸を根拠地に26年続けている青空自主保育『なかよし会』のドキュメンタリー映画が初披露され、3回とも満席の盛況振りでした。なかよし会は、当会の母体となった10の市民活動団体の一つであり、当会の有力な若手会員層の中核を担っています。映画には、谷戸まつりの様子や田んぼ班の活動なども紹介され、自由にのびのびと幼児が育つ環境として、また多世代の交流の場として、谷戸のような身近な自然がいかに大切であるかが表現されていました。市外からも多数訪れ、子育てと環境への関心の高まりを感じさせられました。

2/6(日)

